

医師、看護師、関連職員、あるいは消防の救急隊員は、2年半に及ぶCOVID-19との闘いで既に疲弊し切っています。使命感だけで働き続けていると、自覚症状のないまま突然心身の限界を迎えます。救急現場からそっと離職するスタッフも出ており、救急医療ひっ迫の悪循環は加速しています。

以上は全て、2022年7月現在起こっている事実です。社会全体で1～2年前のようにこうした事実を捉える機会は少なくなっていますが、救急の現場から見ればそれは一種の情報操作に思えてなりません。確かにCOVID-19は、健康な人に対して直接致命的となる確率の低い疾患です。しかし、あなたが事故や急病、あるいは熱中症などで突然生命や身体機能の危機に陥る場面を想像してみてください。2022年7月現在、救急車を呼んだとしても、あなたは病院に受け入れてもらえず、迅速な治療を受けられない可

能性があります。間接的にCOVID-19はあなたの健康と生命を脅かし続けているわけです。

我々は今まで様々な社会生活を制限することによって、COVID-19に対処してきました。社会全体を見回してみると救急医療現場の疲弊と同じように様々な領域でのひずみ・疲弊が見られます。この状況では大規模な社会活動制限をさらに行うことは、ほぼ不可能でしょう。ただし、コロナウイルスが根絶されたわけではありません。今すぐ元通りの社会活動レベルに戻れるわけではないのです。その中で今までに学んだ経験した基本的な感染対策を継続していただくことは可能だと思います。人との接触の仕方、マスクの使用法、換気の重要性、今一度これらの基本的対策を見直し思い出していただけると幸いです。そして、COVID-19に限らず救急医療へのかかり方を皆さんが自分のこととして考えてみてください。

//////////////////////////////// **お 知 ら せ** //////////////////////////////////

会員にかかる弔事に関する医師会への連絡について (お願い)

本会では、会員および会員の親族（配偶者、直系尊属・卑属一親等）が亡くなられた場合は、沖縄県医師会表彰弔慰規則に基づき、弔電、香典および供花を供すると共に、日刊紙に弔慰広告を掲載し弔意を表すことになっております。

会員に関する訃報の連絡を受けた場合は、地区医師会、出身大学同窓会等と連絡を取り規則に沿って対応しておりますが、日曜・祝祭日等に当該会員やご家族からの連絡がなく、本会並びに地区医師会等からの弔意を表せないことがあります。

本会の緊急連絡体制については、平日は本会事務局が対応し、日曜・祝祭日については、緊急電話にて受付しておりますので、ご連絡下さいますようお願い申し上げます。

- 平日連絡先：沖縄県医師会事務局
TEL 098-888-0087
- 日曜・祝祭日連絡先：090-6861-1855
- 担当者 経理課：金城 直